

2022 年度 小委員会活動成果報告

(2023 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	安全計画小委員会		主 査 名：土屋 伸一 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)		委員長名：清家 剛 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2024 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本小委員会は、建築の新しい形態や使われ方、また関連技術の進歩にともなって発生する危険要因を抽出し、それに対応した建築の安全計画の考え方と計画方法を提案することによって、合理的で効果的な建築の安全性を実現することを目的とする。今期は特に、近年需要が高まっているスタジアムやアリーナなどの大規模集客・イベント施設における群集安全設計のあり方について議論し、これらの施設の群集安全設計に関する設計参考図書の発刊を目標とする。</p> <p>加え、前期に作成した建築物の火災安全設計メニューの普及と更新の活動を合わせて行う。</p> <p>初年度：スタジアム・アリーナ既往事例の収集、海外の基準書の参照、指針・参考図書の構成案作成 2 年度：上記、原稿執筆</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有		
	主査：土屋伸一 (明野設備研究所) 幹事：峯岸良和 (建築研究所) 委員：井戸和彦 (清水建設)、今西美音子 (竹中工務店)、河合邦治 (東海旅客鉄道)、北嶋秀明 (ETRA 環境技術研究所)、桑名秀明 (鹿島建設)、古瀬敏 (静岡文化芸術大学)、添川光雄 (森ビル)、水落秀木 (清水建設)、林広明 (大成建設)、村井裕樹 (日本福祉大学)、吉野揃津子 (大林組)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2022 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv. aij. or. jp/keikakusub/s6/	

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	大阪市北区放火火災を受け、防火委員会との共同により、「小規模雑居ビルの放火火災に対する安全計画 特別委員会」を設置し、放火火災・小規模雑居ビルに対する火災安全性に関する提言をまとめている。前期に作成した建築物の火災安全設計メニューの発想を反映させるべく活動中である。

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>近年建設されたスタジアム・アリーナについての情報収集を行った。また、各委員が自ら設計に関与した事例の情報を共有し、分析を行うなど、計画通りの活動ができている。また、スタジアム・アリーナを中心に、過去の群集事故の事例や、イベントの特性ごとの群集の特徴についての整理に関する議論を行った。新規委員の加入により、議論が活発化したことによる部分も大きい。議論が活発化してきたことを受け、群集安全に関するシンポジウムの開催に向け準備を進めることとした。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会は現状、オンライン開催が主体である。出席率が高まることはメリットであるが、深い意見交換のためには、対面開催も再開していきたい。 2. 海外での大規模群集事故を受けて、ヒアリングなどの活動が少々行いにくい状況にある。施設管理・イベント管理者以外でも、建築分野以外で群集について取り組んでいる研究者との連携を図っていきたい。